

その他



2011年度の概況

(株)コベルコ科研においては、ターゲット事業の需要が低迷しました。神鋼不動産(株)においては、分譲事業、賃貸事業ともに堅調に推移しました。

以上の状況から、その他の事業全体の売上高は、2010年度比5.5%増の691億円となり、経常利益は2010年度に比べ7億円増益の72億円となりました。

Topics

神鋼不動産(株)

神鋼不動産(株)、野村不動産(株)、近畿菱重興産(株)、MID都市開発(株)の4社が手掛ける神戸市最大級の大規模マンションプロジェクト「プラウドシティ神戸名谷」を2012年7月より販売開始しました。

・総敷地面積1万7,500m²超、総戸数434戸の旧神戸市有地再開発プロジェクト

・環境を思いやるスマートライフの実現を目指して、エネルギーを「へらす」「つくる」「ためる」という3つのテーマを掲げ、次世代型生活スタイルを提案



2011年7月に(株)神戸製鋼所が主体となり運営するPFI型事業である神戸市立医療センター中央市民病院のビルマネジメント業務(設備管理、警備、清掃)を開始し、神鋼グループの一員として同プロジェクトへ積極的に参画しています。

(株)コベルコ科研

■二次電池評価解析試験事業

近年、環境・エネルギー問題に端を発する自動車の電動化・ハイブリッド化が進んでいます。また再生可能エネルギーとしての太陽電池・風力発電の実用化が急速に進み、その蓄電池用として、更なる高容量・高エネルギー出力かつ、安全で安価な二次電池の開発が全世界で活発に進められています。

車載用・定置用電池の市場が拡大する中、大型の二次電池の特性評価・劣化原因究明や安全性を評価できる試験機関はほとんどなく、市場のニーズがありました。

神戸製鋼グループにおいて、受託研究・試験・分析サービスの中核専門会社である(株)コベルコ科研では、2008年から全社を挙げた二次電池評価解析試験プロジェクトを展開してきました。

電池試作から評価まで一貫して対応可能なように大気非開放型設備による物理解析/表面分析のほか、反応解析・熱解析シミュレーション技術、キュービック/ドームチャンバーなどの設備を活用した安全性評価試験技術を確立し、業界ナンバーワンの事業にまで成長しています。

今後さらに拡大していくと想定しており、事業を通して再生可能エネルギー活用促進や次世代電池開発・実用化への貢献を進めていきます。



キュービックチャンバー(写真左)とドームチャンバー(写真右)